

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉とは何かについて、自分の言葉で説明することができる <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、その現状や問題点について、自身の経験や知識を元に思考、類推することができる。 福祉に関する様々な社会的課題について、その解決に至る道のりを論理的に思考することができる <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、それらの困難に直面している人々のことを想像することができる。 福祉に関する様々な社会的課題について、それらの課題を解決し、社会的に弱い立場にいる人々に手を差し伸べることができる。 	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉に関連する様々な社会課題について、自分の言葉で説明することができる 福祉に関する様々な社会課題に取り組んでいる団体や組織について、その課現状や課題について語るすることができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> 現在の社会の様々な場面に存在する課題を知り、その影響や根本的な原因を考察することができる。 福祉的な見地から、様々な社会的課題を抱える人々について、必要かつ適切な支援を判断することができる。 データや資料を適切に使用して、自分の意見を表現することができる。 <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 福祉に関する様々な社会的課題について、社会的に弱い立場にいる人々に必要な支援を行おうとすることができる。 社会的に弱い立場にいる人々に必要な支援を行うために、社会の仕組みを変えていくことを考えることができる。 	

授業日	6/25(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】① 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】① 本時の具体的な目標 ・ 様々な「福祉に関する社会課題」があることを知る。 ・ 「福祉に関する社会課題」をどうやって解決していくのかについてのディスカッションができるようになる。		
時間 授業内容	10 分	前回授業の振り返り、プレゼンテーションの方法等について確認する	
	80 分	5つの班がプレゼンテーションを行い、相互評価表に記入する	
	5 分	今後のスケジュールについて確認する	
評価方法	以下のルーブリックで評価を行う。 観点① 設定した社会課題の明確性： A 設定されている社会課題が具体的かつ明確で、その重要性をしっかりと説明できている B 設定されている社会課題が明確でわかりやすく説明されている C 設定されている社会課題が不明瞭である 観点② 社会課題に対する解決策の有効性： A 設定されている社会課題に対する解決策が有効であり、根拠を交えて説得力を持って説明できている。 B 設定されている社会課題に対する解決策の有効性が説明されているが、説得力が十分ではない C 設定されている社会課題に対する解決策が有効であると感じられない。 観点③ 社会課題のゴール設定の明確性： A 設定されている社会課題に対するゴール設定が具体的かつ明確で、その根拠をしっかりと説明できている B 設定されている社会課題に対するゴール設定が明確でわかりやすく説明されている C 設定されている社会課題に対するゴール設定が不明瞭である		
宿題指示	今回は宿題はない		